

北村富三「猫を抱く少女」



中路融人と 北村富三 生誕120年展

令和5年

9月16日(土) ▶

11月26日(日)



中路融人「向月台の秋」

会期中の休館日／毎週月曜日(9月18日、10月9日は開館)、

9月19日(火)、10月10日(火)、11月24日(金)

入館料／大人 3000円(2500円) 小中学生 1500円(1000円)

※()内は20名以上の団体料金

中路融人と北村富三生誕120年展

北村富三(1903-1956)は、神崎郡北五個荘村宮荘(現東近江市宮荘町)出身の洋画家です。1926(昭和元)年から寺松国太郎に師事して油彩画を学び、その後上京。二科展や安井曾太郎が創立した一水会で作品を発表します。1940(昭和15)年からは、春から秋に旧満州で取材・制作する生活を送りました。戦争が激しくなると一家で滋賀県に疎開、その後は地元の五個荘から作品出品をつづけました。1956(昭和31)年に53歳で死去。没後は近江商人博物館や八日市文化芸術会館で企画展が開催されています。

本展は、今年生誕120年を迎える北村富三の生涯と作品を振り返るとともに、東近江市名誉市民の中路融人の作品を展示します。北村富三の《猫を抱く少女》に使われる鮮やかな黄色に着想を得て、中路融人からは、赤色が印象的な作品を紹介します。五個荘地区にゆかりのある二人の作家の作品展です。

学芸員による
ギャラリートーク

10月28日(土) 14:00~14:30
無料(要入館料) 申込み不要



関西文化の日

11/18 ㊦
11/19 ㊦
入館無料

近江商人博物館で同時開催
「商家の家訓展」
9月23日(土)~11月19日(日)

上段:中路融人「望」、中段左:北村富三「彦四郎邸庭」、中段右:北村富三「針箱」、下段:中路融人「葦の村」



東近江市 近江商人博物館・中路融人記念館

〒529-1421 滋賀県東近江市五個荘竜田町583番地(てんびんの里文化学習センター内)
TEL 0748-48-7101 IP 050-5802-3134 URL <https://e-omi-muse.com/omishounin-boy.html>

- 開館時間/午前9時30分~午後5時(入館は午後4時30分まで)
- 休館日/月曜日(祝日の場合は開館)・祝日の翌日・年末年始 臨時休館あり
- 入館料/大人300円(250円)小中学生150円(100円)※()内は20名以上の団体料金
- 交通機関/・JR琵琶湖線 能登川駅から近江鉄道バス「八日市駅行」で「金堂」または「ふらざ三方よし前」下車徒歩約15分
- ・近江鉄道 五箇荘駅から徒歩約25分
- ・名神高速道路 八日市ICから車で約20分、蒲生SICから車で約25分、湖東三山SICから車で約25分、竜王ICから車で約30分、彦根ICから車で約40分

